

緑と生きる

緑生都市神戸 2050

神戸市緑の基本計画の
改定にむけて

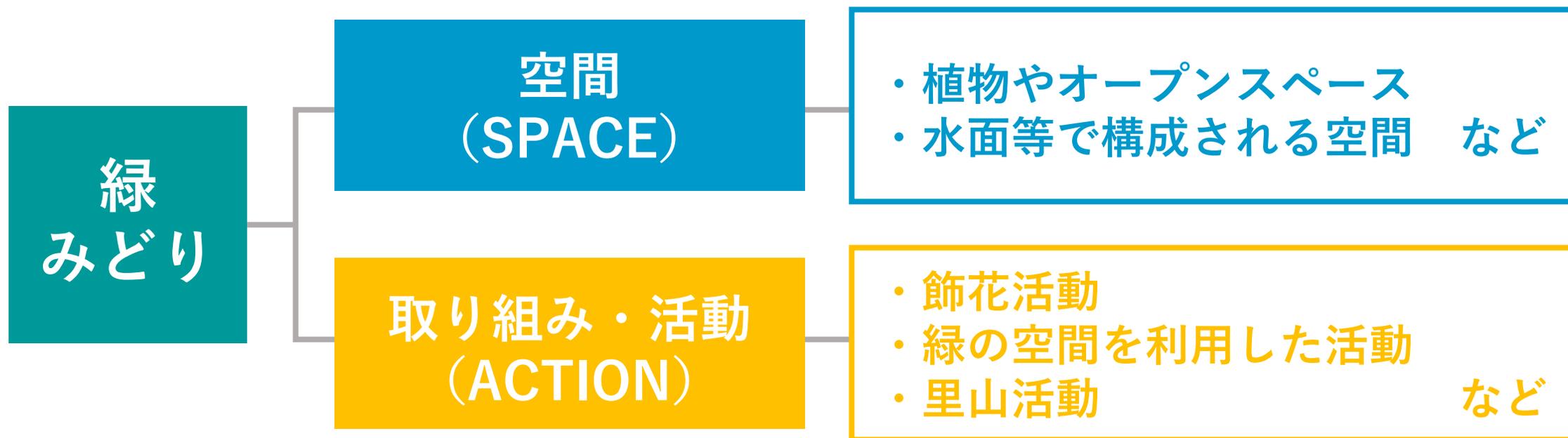
目次

1. 第1回部会の振り返り
2. 次期計画の構成 . . . 議題 1
3. 基本理念 . . . 議題 2
4. 次期目標について . . . 議題 3

目次

1. 第1回部会の振り返り
2. 次期計画の構成 . . . 議題 1
3. 基本理念 . . . 議題 2
4. 次期目標について . . . 議題 3

1.(1)みどりの定義



対象となる緑 | 山 森林 公園 街路 広場 田園 花壇 など

1.(2)神戸市の緑の特徴

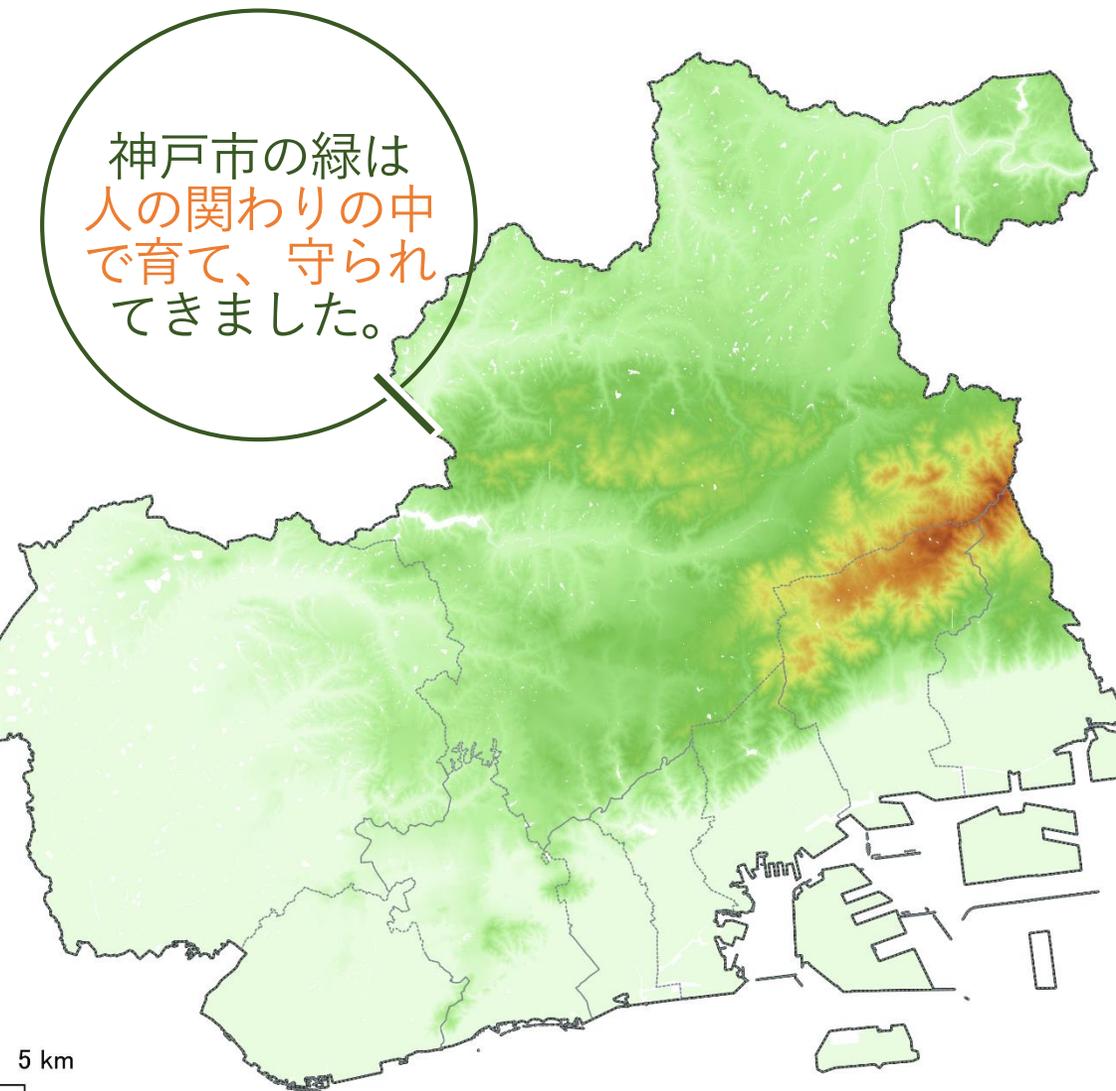
山のみどり

都市の骨格を形成している六甲山系、帝釈・丹生山系や鎌倉峡、雄岡山・雌岡山等の山の緑

神戸市の緑は
人の関わりの中
で育て、守られ
てきました。

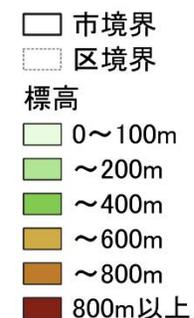
田園のみどり

西北神等に広がる農地、里山を中心とし、貴重な田園風景や豊かな自然環境を形成する緑

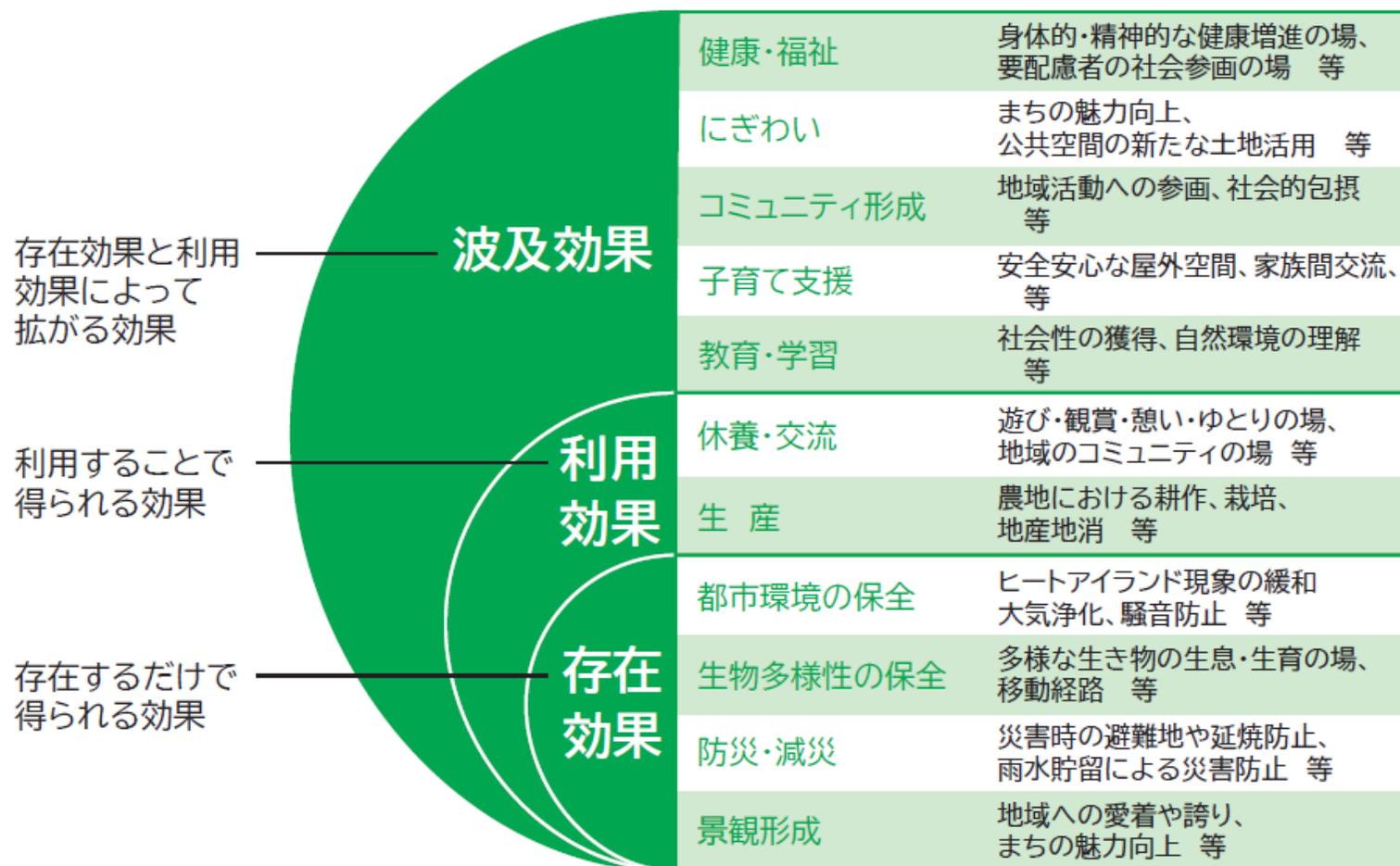


まちのみどり

六甲山系と海に挟まれ、少ない平地を利用して形成されてきた市街地や郊外住宅地にある、公園や街路樹、河川緑地、庭木、社寺林、民有地の緑など生活と密着した緑



1.(3)みどりの効果と機能



みどりの効果と機能

1.(4)神戸市における緑の課題

- ◆ 継続した森林の管理・育成・活用
- ◆ 自然災害への対応
- ◆ 選ばれるまち「神戸」の形成
- ◆ 高温常態化への対策
- ◆ 身近な緑化の推進や緑地の保全・活用による住環境の向上
- ◆ 持続可能な社会への貢献
- ◆ オープンスペースの確保や防災機能の向上
- ◆ 水と緑のネットワークの形成
- ◆ 公園等の安全・安心の向上や利用促進
- ◆ 六甲山の景観や森林レクリエーション機能の向上
- ◆ 緑による人と人とのつながりの形成
- ◆ 生物多様性の保全
- ◆ 社会全体で緑を育む仕組みや意識の形成
- ◆ 里山・田園環境の再生
- ◆ 歴史・文化を活かした魅力の向上

1.(5)新たな視点

新たな 視点

ネイチャーポジティブ SDGs グリーンインフラ

こどもまんなか社会 Well-being 人口減少社会

30 by 30 デジタルトランスフォーメーション (DX)

高温常態化 民間活力の導入 カーボンニュートラル

1.(6)キーワードの整理

守る

- ・ 生物多様性
- ・ 歴史文化
- ・ 防災減災
- ・ 気候緩和
- ・ 景観
- ・ 里山、田園
- ・ 緑の保全育成

創る

- ・ グリーンインフラ
- ・ 魅力創造
- ・ ゆとり空間の創出
- ・ ストックの活用
- ・ 拠点公園
- ・ 都心緑化

触れる

- ・ 環境教育
- ・ コミュニティ
- ・ にぎわいづくり
- ・ 子どもの遊び場
- ・ フレイル予防
- ・ みどりの価値
- ・ 普及啓発

支える

- ・ 安心安全
- ・ 新たな技術
- ・ 価値、仕組みづくり
- ・ 地域協働
- ・ 産官学の連携
- ・ 人材育成
- ・ ブランディング

1.(7)第1回部会でいただいた主な意見

項 目	内 容
気候変動への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 温暖化に立ち向かうことが大切。 ・ 緑陰をつくるために樹冠を増やしていくことが重要。
市民参加とPRの必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 街路樹の管理などの計画が市民に十分に伝わっていない。 ・ 「知る」、「共有する」という事を伝えていくことが大事。 ・ 木を植えることの環境的価値をPRする必要がある。 ・ 市民参画で緑を増やしていくことが重要。 ・ 計画そのものを知らない人も多い。書き方や構成に工夫が必要。
計画の具体性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神戸の緑が具体的にどうなっていくのかが見えると分かりやすくなる。 ・ 数値的な指標を出すことが望ましい。 ・ 資源を使うなど、緑をうまく使うことに言及できると良い。 ・ 里山など、地域ごとの計画が重要になる。空間上で実施状況が分かると良い。
関連計画との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市空間向上計画と連携して、緑の関わり方を示せると良い。 ・ 改定予定の都市計画マスタープランと連携を図っていく必要がある。(位置づけなど) ・ 公園の防災機能は重要。地域防災計画にも位置づけがあり、他部局と連携した計画が必要。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人工林の手入れの問題 ・ 人口減少社会への対応 ・ グリーンインフラへの取組

目次

1. 第1回部会の振り返り
2. 次期計画の構成 . . . 議題 1
3. 基本理念 . . . 議題 2
4. 次期目標について . . . 議題 3

本編

- ✓ 読みやすく、理解しやすい内容
- ✓ 神戸の緑のガイドブックのようなもの

実践編

- ✓ 本編の詳細版
- ✓ 具体的な施策など、実践していく内容を載せる

市民に計画や方針が伝わっていない



- [本編]と[実践編]の2構成とする
- [本編]は市民の人も読みやすく、理解しやすい内容にする



イメージ（出展：海士町をつくる24の提案）

本編

目次例

1. はじめに
2. 神戸における緑の価値と課題
3. 計画の基本理念
4. 目標
5. 施策
6. 検証・評価と反映 など

本編

目次例

1. はじめに
2. 神戸における緑の価値と課題
3. 計画の基本理念
4. 目標
5. 施策
6. 検証・評価と反映 など

本日のスライド4～9枚目

本日の議題2、3です
ご意見をお願いいたします

次回の議題の予定です

目次

1. 第1回部会の振り返り
2. 次期計画の構成 . . . 議題 1
- 3. 基本理念 . . . 議題 2**
4. 次期目標について . . . 議題 3

3.(1)基本理念 | 振り返り

山のみどり

都市の骨格を形成している六甲山系、帝釈・丹生山系や鎌倉峡、雄岡山・雌岡山等の山の緑

神戸市の緑は
人の関わりの中
で育て、守られ
てきました。

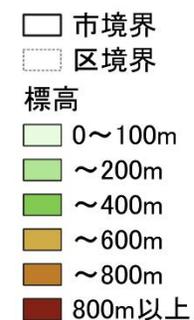
田園のみどり

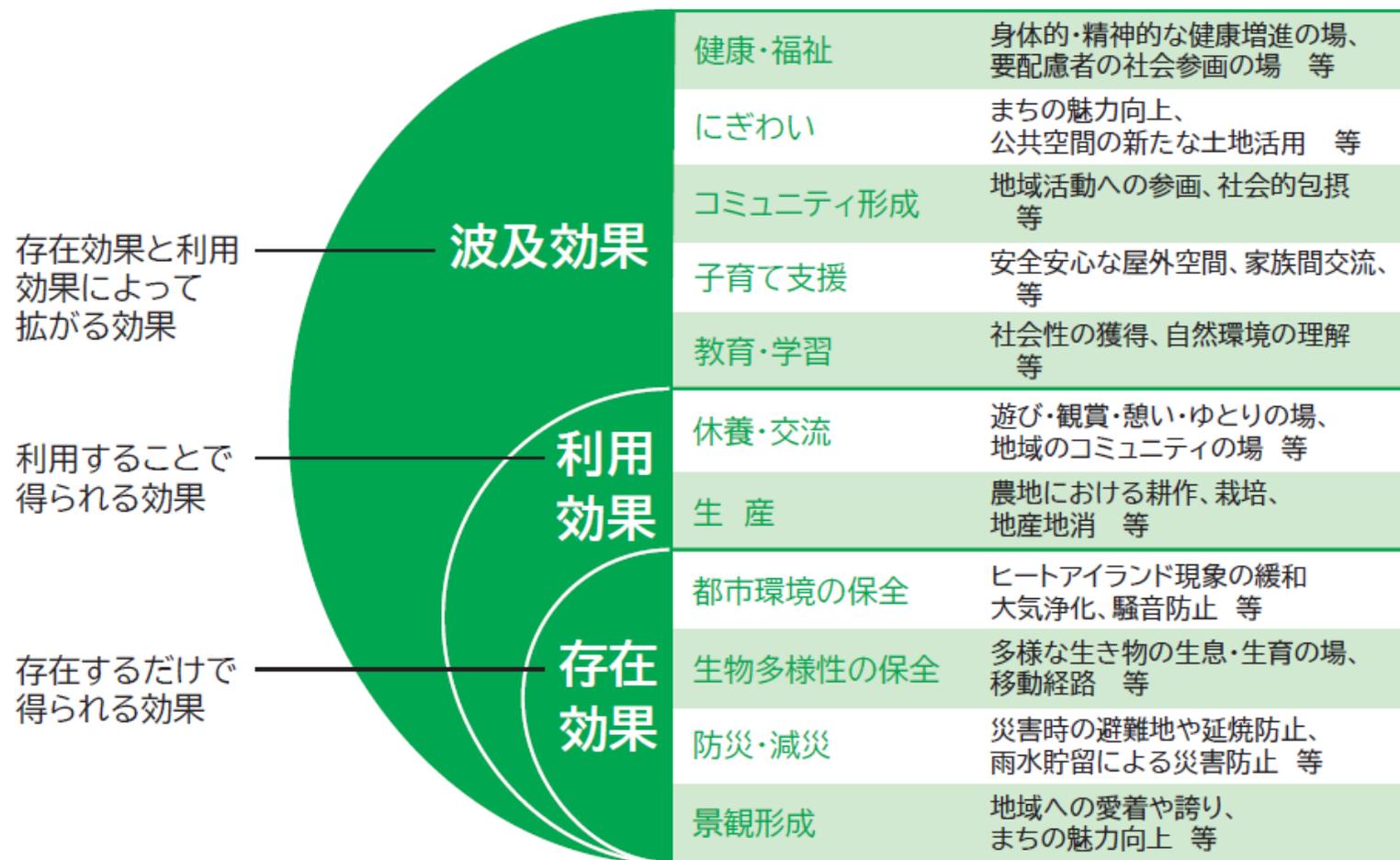
西北神等に広がる農地、里山を中心とし、貴重な田園風景や豊かな自然環境を形成する緑

まちのみどり

六甲山系と海に挟まれ、少ない平地を利用して形成されてきた市街地や郊外住宅地にある、公園や街路樹、河川緑地、庭木、社寺林、民有地の緑など生活と密着した緑

0 2.5 5 km





みどりの効果と機能

神戸市は、
緑の3つの効果を
深く享受してきた。

今後も永く享受していく
ため、人が緑とともにあ
り続けられる都市になる
必要がある。

基本理念

緑とともに永遠に生き続ける都市 = 緑生都市

緑 と 生 き る

緑生都市神戸 2050

神戸市緑の基本計画

目次

1. 第1回部会の振り返り
2. 次期計画の構成 . . . 議題 1
3. 基本理念 . . . 議題 2
4. 次期目標について . . . 議題 3

基本理念

緑とともに永遠に生き続ける都市 = 緑生都市

理念を達成するための4つの視点

- ✓ **緑の保全** | 六甲山など今ある緑を守っていく
- ✓ **関係人口の増加** | 市民や企業緑の関わり方の幅を増やしていく
- ✓ **質の向上** | Well-beingの向上や緑・公園の質の向上を図る
- ✓ **新たな役割** | 脱炭素などへの取り組みを進める

次期計画では、4つの視点を軸に目標を設定します。

緑の保全



| 1 | 緑被率

関係人口の増加



| 2 | 市民や民間との協働に関する目標

質の向上



| 3 | 緑の質に関する目標

新たな役割



| 4 | 気候変動に対応した目標

| 1 | 緑被率

✓ 市全域の緑被率は減少傾向にある ⇒ 六甲山など今ある緑を守る

案 緑被率の現状維持(または増加)



4.(3) 緑の保全

1 | 緑被率

案 緑被率の現状維持(または増加)

他都市の例	現状	目標
仙台市	78.4% (R1)	▶ 維持・向上 (R12)
政令市		
千葉市	48% (R5)	▶ 現水準を保つ (R14)
熊本市	33% (H30)	▶ 32.8%(維持) (R12)
宇都宮市	53% (R3)	▶ 53.4%(維持) (R14)
その他		
狛江市	23% (H30)	▶ 22.8%以上 (R11)
守谷市	47% (R2)	▶ 46%(維持) (R22)

※比較的新しい年度に計画が策定され、かつ目標年次に達してしていない都市を抜粋

| 2 | 市民や民間との協働に関する目標

✓ 緑への関わり方の幅を増やしていくことを目指す

案①

「市民の関わりがある公園」を増やす

美緑花ボランティアがない等市民の関わりがない(少ない)公園に対し、関わりを増やす。

案②

さまざまな主体による緑への関わりを増やす (企業・団体・個人等)

4.(4) 関係人口の増加

2 | 市民や民間との協働に関する目標

案① 「市民の関わりがある公園」を増やす

案② さまざまな主体による緑への関わりを増やす（企業・団体・個人等）

他都市の例

		基準年	目標
案①	大阪市	身近な公園の利用頻度	46.5%(H22) ▶ 60%(R7)
	仙台市	身近な公園の役割が子どもを遊ばせる場所と回答する市民の割合の増加	62.6%(R1) ▶ 現在より向上
	千葉市	緑と水辺のまちづくり活動への参加度	29.6%(R5) ▶ 50.0%(R14)
緑と水辺のまちづくり活動の表彰数		-(R5) ▶ 受賞数10	
案②	宇都宮市	緑地保全・緑化推進に係るボランティア活動者数	3,350人(R3) ▶ 4,100人(R14)
	さいたま市	緑に関する取組を行っている市民の割合	62.6%(R3) ▶ 65%(R12)
	東広島市	公園里親制度活用団体数	87団体(R2) ▶ 150団体(R12)

| 3 | 緑の質に関する目標

- ✓神戸の緑の「質」を向上
- ✓緑を活用したWell-beingの向上を目指す

案①

代表的な地点における緑視率の増加

⇒駅前空間や街路空間における質〔存在効果〕の向上

案②

満足感を感じる市民割合の増加

⇒公園における質〔利用効果〕の向上

案③

健康率の増加

⇒様々な緑による生活の質〔波及効果〕の向上

4.(5) 質の向上

3 | 緑の質に関する目標

案① 代表的な地点における緑視率の増加

案③ 健康率の増加

案② 満足感を感じる市民割合の増加

他都市の例

		基準年	目標
案① 緑視率	広島市	平和大通りなど広島を象徴する場所 再開発地区などにぎわいの中心となる場所 広島駅など交通結節点	42.9%(H31) 8.6%(H31) ▶ 16.4%(H31)
	熊本市	16箇所緑視率の平均値(R2)	11.5% ▶ 15%(15%未満の箇所) 25%(16箇所の平均値)
	千葉市	緑が豊かだと感じる市民の割合	77.8%(R5) ▶ 85.0%(R14)
案② 満足感	熊本市	中心市街地に緑が多いと感じる市民の割合	73.3%(R1) ▶ 80%以上(R12)
	厚生労働省	1日の歩数の平均値(年齢調整値)(健康日本21目標)	6,278歩(R1) ▶ 7,100歩(R14)
案③ 健康率	名古屋市	運動をすることが好きな子どもの割合(総合計画)	小 61.8% ▶ 中 51.0% 小 66% 中 56% (R10)

| 4 | 気候変動に対応した目標

✓神戸の緑の価値を新たな時代を見据えた視点で考える

チャレンジ目標

案① 樹冠被覆率 (Treecanopycoverage) の増加

案② カーボンクレジット、CO₂吸収量の増加

案③ 中心市街地における植樹本数の増加

チャレンジ目標
における課題

- ✓ 調査方法の検討
- ✓ 現況値の把握や目標値の設定

4.(6) 新たな役割

4 | 気候変動に対応した目標

- 案① 樹冠被覆率 (Treecanopycoverage) の増加
- 案② カーボンクレジット、CO₂吸収量の増加
- 案③ 中心市街地における植樹本数の増加

他都市の例

樹冠被覆率

	基準年	目標
メルボルン市街地 (オーストラリア)	20% (R3)	▶ 40% (R22)
ニューヨーク (米国)	22% (H26)	▶ 30% (R17)
バルセロナ (スペイン)	25% (H29)	▶ 30% (R19)
バンクーバー (カナダ)	23% (H30)	▶ 30% (R32)

〈参考〉 東京23区の樹冠被覆率の推移
H25▷9.2% R4▷7.3%

參考資料

目標の達成状況

第1回審議会で提示済
(一部追記)

1 市域における永続性のある緑地の面積 **達成**

目標値
35,000ha以上 ▶ **35,000ha以上**
(35,248ha)

2 まち中における緑の面積の割合 **達成**

▽市街化区域における緑被率
目標値
3割以上 ▶ **31.4%**

数値としては
減少傾向

3 身近な緑に満足していると感じている市民の割合

▽市民アンケートにおいて「満足している」と回答した割合

目標値
2011年時点の割合
21.9%以上 ▶ **19.0%**

4 緑に関する活動に参加している市民の割合

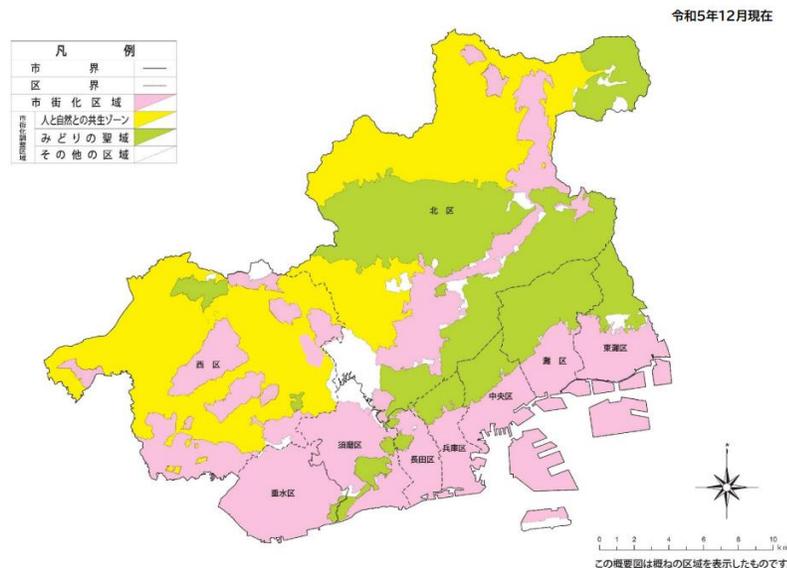
▽市民アンケートにおいて活動に「参加していない」と回答した人を除いた割合

目標値
2011年時点の割合
28.7%以上 ▶ **27.4%**

目標の達成状況

1 市域における永続性のある緑地の面積 達成

目標値
35,000ha以上 ▶ **35,000ha以上**
(35,248ha)



◇ 永続性のある緑地

地域性緑地	みどりの聖域	15,273 ha
	人と自然との共生ゾーン	17,935 ha
施設緑地	市街化区域内の公園緑地等の施設緑地	2,040 ha
		35,248 ha

目標の達成状況

2

まち中における 緑の面積の割合

達成

▽市街化区域における緑被率
目標値

3割以上

31.4%

数値としては
減少傾向

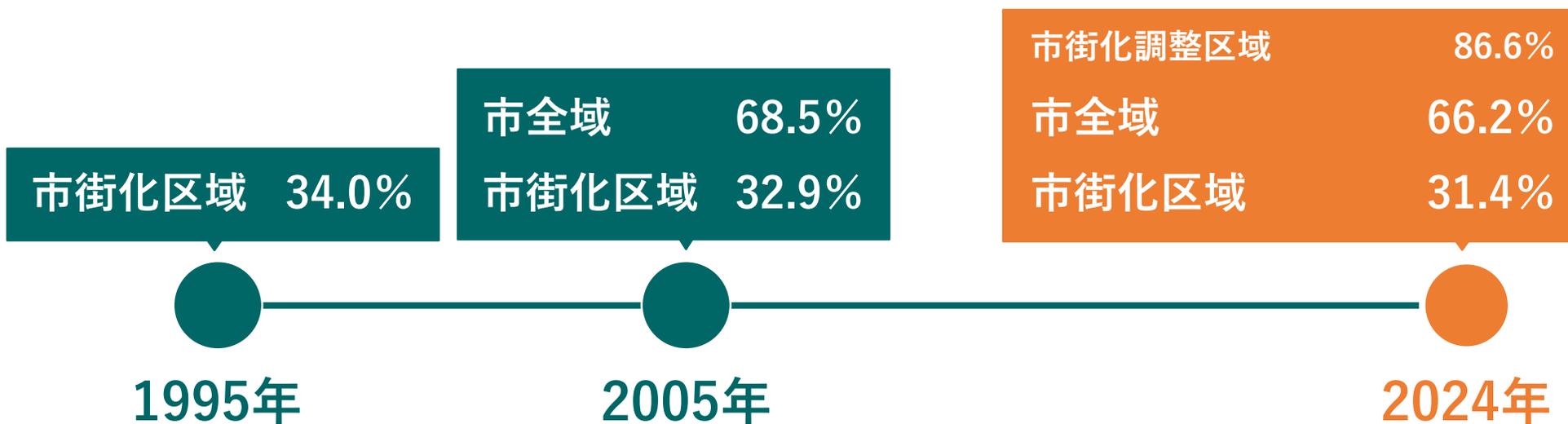
市街化区域における緑被率の増減 | 2005年⇒2024年 |

増加

東灘区、灘区、中央区、兵庫区、
長田区

減少

北区、須磨区、垂水区、西区



(1) 目標の達成状況

第1回審議会で提示済

身近な緑に満足している と感じている市民の割合

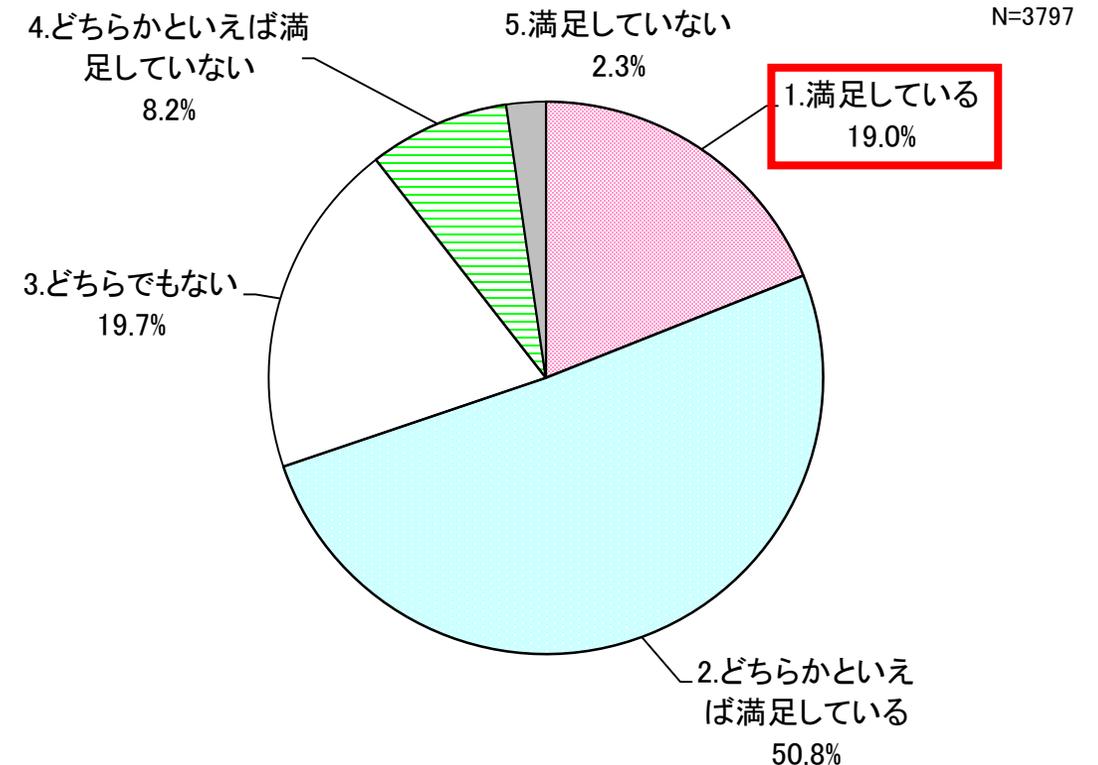
▽市民アンケートにおいて「満足している」と回答した割合

2011年時点の割合
21.9%以上 ⇒ **19.0%**

- ✓ 神戸市の緑に対して、「満足している」割合は19.0%、「どちらかといえば満足している」は50.8%という結果になった。
- ✓ 一方で、身近な緑の量に関しては、約6割が「充分にあると思う」と回答した。

ネットモニターアンケート(R6年1月実施)
回答者数：3797名

問1 神戸市の緑について、満足していますか。



(1) 目標の達成状況

第1回審議会で提示済

緑に関する活動に参加している市民の割合

▽市民アンケートにおいて活動に「参加していない」と回答した人を除いた割合

2011年時点の割合
28.7%以上 ⇒ **27.4%**

- ✓ 緑の活動に参加していない割合が、約7割であった。
- ✓ 一方、今後の活動への意欲に関しては、「機会があれば参加したい」という回答が約4割を占めた。

問7 あなたがこの1年間に参加したことがある緑に関する活動について教えてください。(あてはまるものすべて)

